

地域支援だより

きらりNet



平成30年12月3日

第88号

秋田県立秋田きらり支援学校
地域支援部

第45回 東北地区病弱虚弱教育研究連盟研究協議会秋田大会を開催しました

本大会は、日頃の教育実践や課題について、東北地区の病弱虚弱教育関係者が発表・協議し、病弱虚弱教育の充実を図ることを目的として開催されています。

■期 日：平成30年10月4日（木）～5日（金）

■大会主題：「豊かに生きる力を育む病弱教育の在り方を求めて」



分科会

5分科会に分かれ、各分科会テーマのもと、東北各校の教育実践発表並びに発表を基にした協議を行いました。

分科会	テーマ
①教科・領域等の指導	病状に配慮し、児童生徒一人一人の「豊かに生きる力」を育むための指導の在り方
②心身症・発達障害等の児童生徒の指導	病状を理解し、児童生徒一人一人の「豊かに生きる力」を育むための指導の在り方
③重度・重複障害等の児童生徒の指導	障害の状況や特性を基に、児童生徒一人一人の「豊かに生きる力」を育むための指導の在り方
④医療・家庭・地域・教育の連携	一人一人が将来にわたり、よりよく生きるための連携の在り方
⑤自立活動の指導	一人一人の「豊かに生きる力」を育む自立活動の指導の在り方

行政報告

講師：文部科学省初等中等教育局特別支援教育課 特別支援教育調査官 深草 瑞世 氏
演題：「病弱教育における課題と今後の展望」

- 入院や外出困難により、体験機会が不足するため、間接体験や疑似体験等を取り入れた指導方法（タブレット端末のアプリ活用、VRによる仮想体験等）の工夫が必要。（学習指導要領より）
- 遠隔教育の推進に向けた施策方針が文科省から出された。（平成30年9月20日付）遠隔教育は、学習機会の確保や学習意欲の維持・向上、円滑な復学につながるなどの効果があり、小中学校の児童生徒において、同時双方向型授業配信を行った場合に出席扱いとすることができると通知された。



講演

講師：秋田大学大学院教育学研究科 教授 藤井 慶博 氏
演題：「インクルージョン時代の病弱教育」

多様な学びの場の連続性

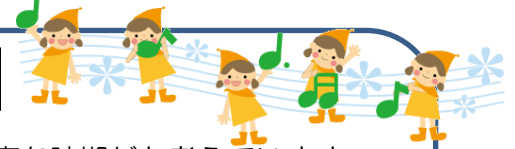
- 病気の子どもはある日突然病気になり、通常学級から自宅や病院内での指導へと、大きく違った環境に置かれるという特色がある。多様で柔軟な仕組みを整備することが必要。

遠隔教育の例として、テレプレゼンスロボット『Kubi』を使用した取組の紹介と実演がありました。病院や自宅から遠隔操作をして居住地校の授業に参加することができます。



実践紹介⑤ 小学部 音楽 (自立活動を主としたグループ)

小学部 2組高学年グループの音楽の授業を紹介します。



小学部の児童にとって「音楽って楽しい」と感じる事が何より大事な時期だと考えています。

みんなと一緒に楽しい

授業の始まりは「手をつなごう」の歌で、歌詞に出てくる豆に見立てたボールをみんなで触って楽しめます。「触りたいな」「次はぼく?」「先生こないかな。」「〇〇さん、楽しそう。」そんな声が聞こえてくるようです。



先生と一緒に楽しい

「山羊さんゆうびん」では、先生と一緒に山羊さんのお手紙を配達します。歌が始まると、児童の手に力が入り、手紙をぎゅっと握り、届け先の山羊さんをじっと見ます。「先生と一緒に配達する!」やりたい気持ちがいっぱいです。



友達と一緒に楽しい

授業の終わりは「さよならあんころもち」というわらべ歌を聴きながら、友達と触れあいます。友達の近くに自分から進む姿、自分から手を伸ばして友達に触ろうとする姿から「友達大好き」な気持ちが伝わってきます。



(文責：田村祐貴子)

教育専門監のコーナー



【自由に演奏する曲】

楽器に触れたり、友達と一緒に活動したり、自由に演奏したりするなかで、音楽の楽しさを味わいます。

【演奏に際して緩やかなルールがある曲】

音を鳴らすタイミングを待つ中で、順番を待つ、機会を待つ、そして自分の役割を果たすという体験をします。

【休符の部分で演奏する曲】

♪幸せなら手をたたこう～♪、休符の部分で楽器を鳴らしたり、手をたたいたりするなかで、音を鳴らすまでの構えや、周囲と息を合わせる構えを身に付けていきます。

【演奏のタイミングが厳密に定められている曲】

先生の合図に応じて音を鳴らすことで、自分が果たす役割をより明確に実感していきます。

先生のピアノに合わせて、友達と順番に楽器を鳴らす子どもたち。自らの感性を豊かに働かせ、先生の言葉に音と笑顔で応えます。音楽を通してコミュニケーションが豊かに広がり、子どもたちは、外に向かう力を身に付けていきます。

様々な曲に触れ、主体的で創造的な表現を繰り返す中で、リズム・旋律・音の重なりやテンポ・強弱に、自分だけのお気に入りを見付けていきます。その曲のもつ雰囲気・曲想・美しさに惹かれ、こみ上げてくる楽しさを表現します。

一瞬、一瞬の音との出会いの中で、一つ、また一つと自分だけの音を紡ぐ子どもたち。一人一人の気持ちや表現を大切にしたい小学部の音楽は、楽しい音楽経験を通して自分のよさを周囲に表現する学習と言えます。

(文責：二階堂 悟)



◇教育相談・見学の希望があれば、いつでも御連絡ください。

教頭 伊藤 敏博 地域支援部主任 佐藤 忠浩

住所：〒010-1409 秋田市南ケ丘一丁目1番1号

E-mail：kirarisien@akita-pref.ed.jp

電話：018 (889) 8573 FAX：018 (889) 8575

「きらり Net」は本校ホームページから閲覧することができます。

<http://www.kagayaki.akita-pref.ed.jp/kirari/index.html>